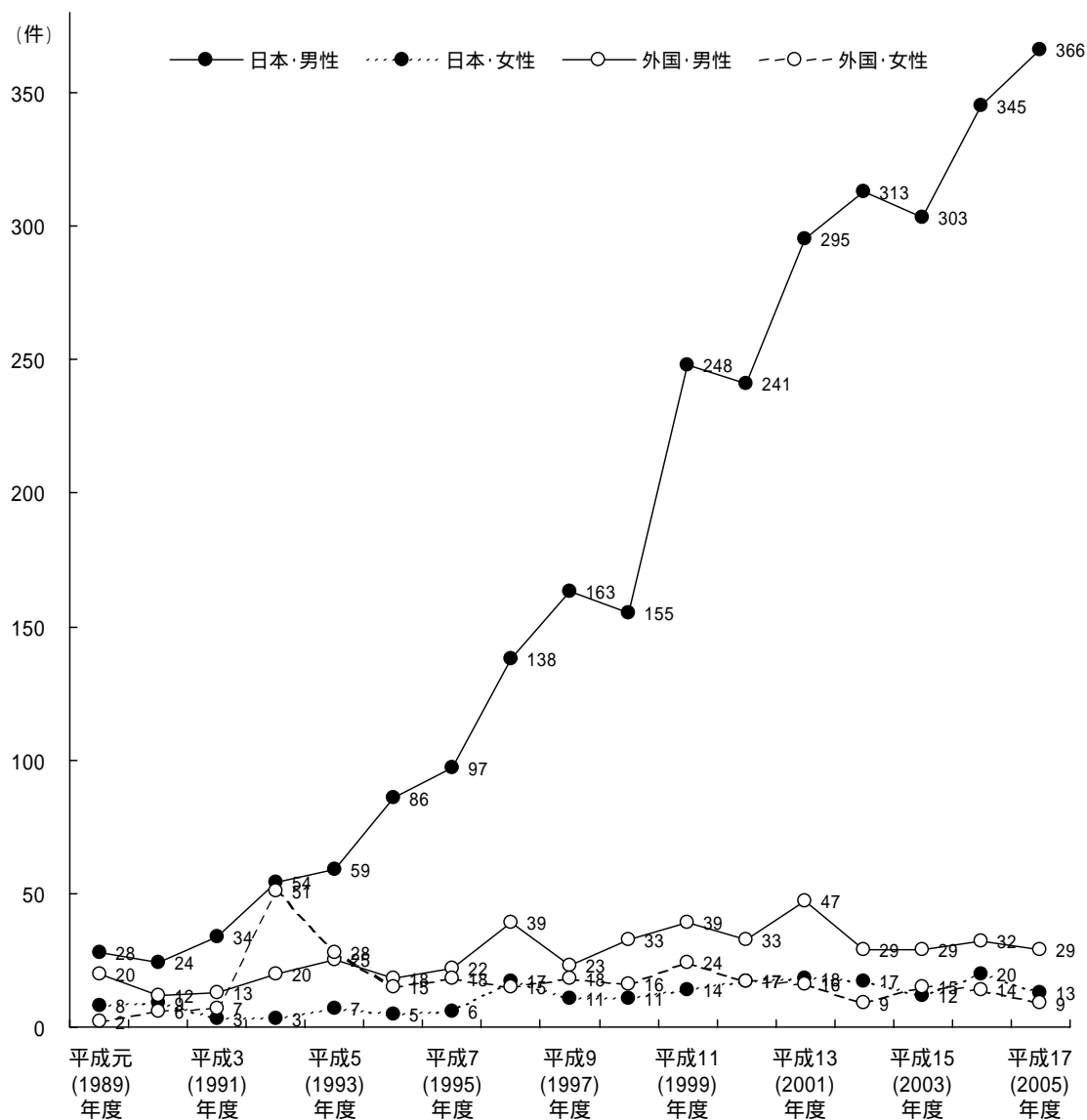


- 5 性教育・エイズ

1 HIV感染者及びAIDS患者数

平成17年度の都内におけるHIV感染者及びAIDS患者の報告数は、「日本・男性」が366件であり、上昇傾向にある。「日本・女性」「外国・男性」「外国・女性」は、いずれも横ばいとなっている。

図表 - 5 - 1 HIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別報告数の年次推移（都）



注1：HIV感染者とは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）が体内に入り、「感染」した状態になっているが、「発症」していない状態。

注2：AIDS患者とは、HIVにより免疫機能が低下し、「指標疾患」と呼ばれる、決められた疾患の症状が認められた場合。

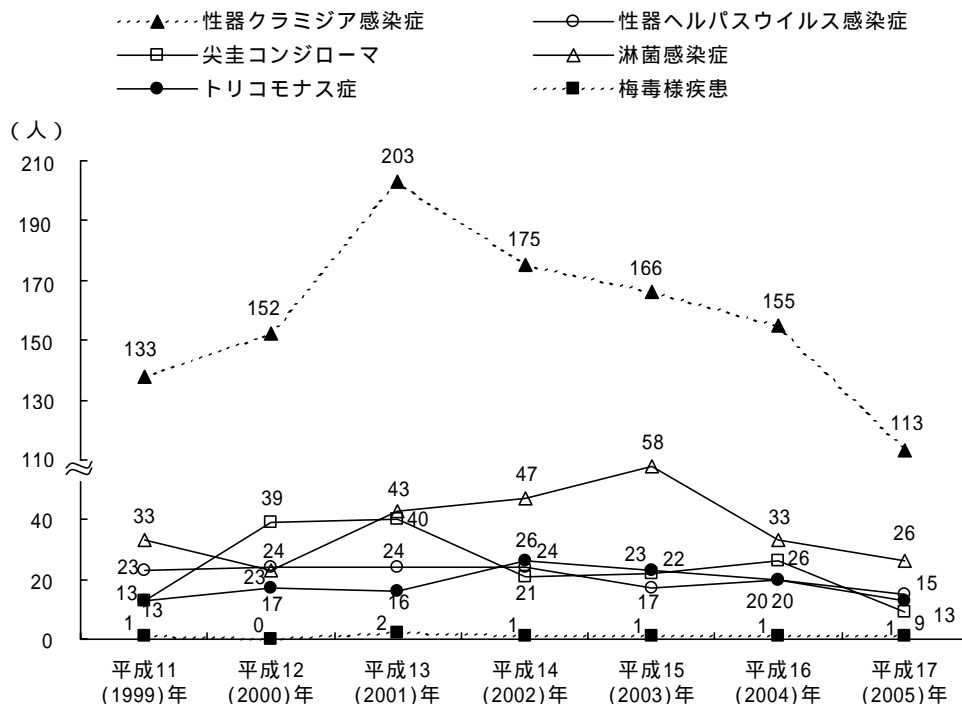
資料：東京都福祉保健局「東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び検査・相談事業の実績」

2 STD（性感染症）の患者数

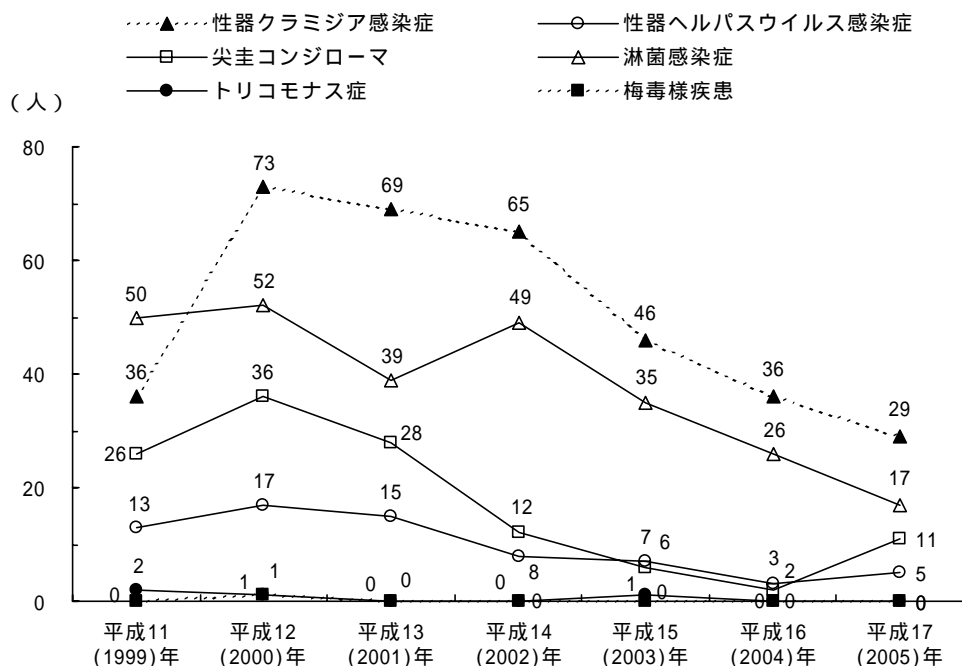
性感染症の中で最も多かった「性器クラミジア感染症」は、女性の場合、平成13年度に200件を超えていたが、平成17年度には113件まで減少しており、男性も平成12年度の73件から平成17年度には29件まで減少している。

図表 - 5 - 2 STD（性感染症）の患者数の推移 [10～19歳] (都)

<女性>



<男性>

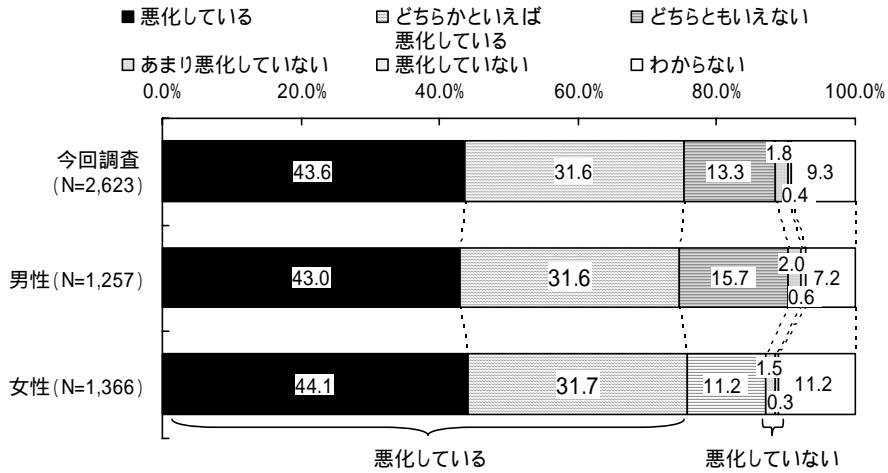


資料：東京都福祉保健局「感染症発生動向調査事業報告書」

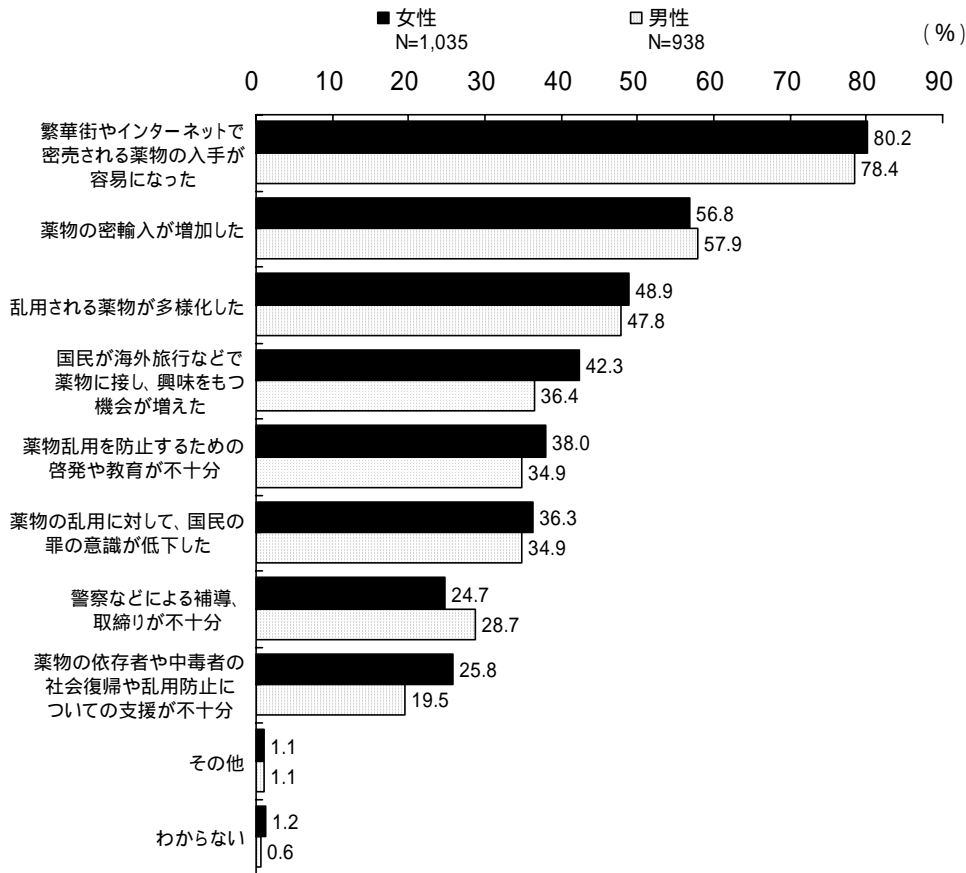
3 薬物犯罪に対する認識

薬物犯罪が「悪化している」、「どちらかといえば悪化している」とする者は75.2%で、その理由や原因としては「繁華街やインターネットで密売されるなど薬物の入手が容易になった」を挙げる者が男女とも最も高くなっている。

図表 - 5 - 3 薬物犯罪の情勢に対する認識（全国）



図表 - 5 - 4 薬物犯罪が悪化している原因や理由（全国）



注：薬物犯罪に関する情勢について「悪化している」と回答した者による複数回答。

資料：内閣府「薬物乱用対策に関する世論調査」平成18年